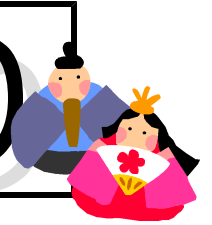


梅田中学校だより  
令和7年 3月3日  
校長 柴田佳世子

# 梅の香り



## 令和6年度 学校評価アンケート集計結果

校地内の梅がようやく満開となり、愛らしいなかにも凜とした佇まいに背筋が伸びます。PTAの皆さんに植えていただいたプランターの花々で校地内も華やかな雰囲気になり、春の訪れが待ち遠しい頃となりました。



学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。長く続いたコロナ感染症による行動制限もほぼ見られなくなり、通常に戻った学校生活では、コロナ禍で学んだことや得た工夫を生かして、より望ましい学校教育活動に向けて計画実行する1年となりました。

今年度の学校評価アンケートは、生徒調査15項目、保護者調査17項目で実施しました。集計結果一覧を見ると肯定的な回答が80%以上の項目が生徒調査で13項目、保護者調査で11項目、69%以下の項目が生徒調査2項目、保護者調査で2項目ありました。全ての内容を載せることは出来ませんので、一部を紹介いたします。

・「先生方は、あなたのことを理解してくれていますか」「先生方は、真剣に相談に乗ってくれますか。相談しやすい雰囲気をもっていませんか」の調査項目では、肯定的な生徒の回答は昨年度よりやや増加し、約9割となっています。また保護者の肯定的な回答も昨年度と比較して増加しており、約8割となっています。教育相談の充実や生徒保護者の皆さんとの日頃からの信頼関係づくりがある程度評価されていると感じています。生徒理解、信頼関係の構築は、全ての教育活動の基盤となるため、現状に甘んじることなく、相談しやすい人間関係づくりに取り組み、生徒達の心の安定を図り充実した学校生活を送れるよう努めてまいります。

・「安心安全な居場所になっていますか」の調査項目では、生徒の肯定的な回答は9割に満たないものとなっています。学校生活に不安を抱えている生徒が一定数いることを真摯に受けとめ、いじめの早期発見、早期対応にも教職員一同チームとして取り組んでいきたいと思えます。

・家庭との連携については、肯定的な回答が昨年度より数%上昇し92%となっていますが、「保護者の意向にしっかりと耳を傾けているか」については約8割となっており、課題があると分析しています。お子さんの姿を通して、保護者の皆さまに安心していただけるよう、お子さんの活動や学校の様子をご覧いただく機会をさらに設定したり、学校の様子を発信したりするなど取り組んでいきたいと思えます。

・「わかる授業、参加しやすい授業」「多様な学力を育成するための授業の工夫」や「単元ごとの評価を次の学びへ生かす」調査項目については、この数年肯定的な回答が数%ずつですが増加の傾向です。生徒の皆さんが学習に関心を持ち、意欲的に取り組んでいることがうかがえます。今後もICT機器の活用や生徒の皆さんの思考力育成を意識し、主体的・対話的で深い学びの充実に向けて授業づくりを進めていきたいと思えます。

学校教育目標「豊かな人間性とたくましい生活力をもった生徒の育成」のもと、生徒の心に丁寧寄り添い、さらなる成長を目指して、今後も教育活動に励んでまいります。最後になりましたが、保護者の皆様には令和6年度の本校の教育活動にご理解とご協力をいただきましたことを、心より感謝いたします。

